

研究テーマ

子どもの深い学びをめざしたつなぐ力の育成

～子どもがつくる算数科学習を通して～

1. 研究テーマ設定の理由

本校では平成元年から算数の研究に取り組み、平成10年度から20年以上続けて奈良女子大附属小学校の先生を講師に招き研究を続けている（参考資料1）。また、奈良女子大学附属小学校で取り入れられている「子どもがつくる学習」と全国の複式学級で実践されている「ガイド学習」を組み合わせた「母子のガイド学習」を、同室学年別学習で推進している（参考資料2）。この複式・ガイド学習を進めることで、以下の三つの効果があると考えている。

- ・学習に主体的に関わり、自分たちで学習を作り上げる意欲と誇りを持つ。
- ・学習の準備をする習慣が身につく。
- ・児童が他学年を指導している教師を待つ時間（複式学級の弱点）がなくなる。

また、学習指導要領には、「あらかじめ自己の考えを持ち、それを意識した上で、主体的に取り組むようにし、深い学びが実現する」学習が大切であると書かれている。このことは、「おたずね」によって、コミュニケーションを深めながら子どもたちがすすめる本校の算数科教育そのものであると考える。

そこで、今年度のテーマを、「子どもの深い学びをめざしたつなぐ力の育成 ～子どもがつくる算数科学習を通して～」と設定した。今年度も子どもたちを中心に据えた教育を柱にし、深い学びについて考えていきたい。